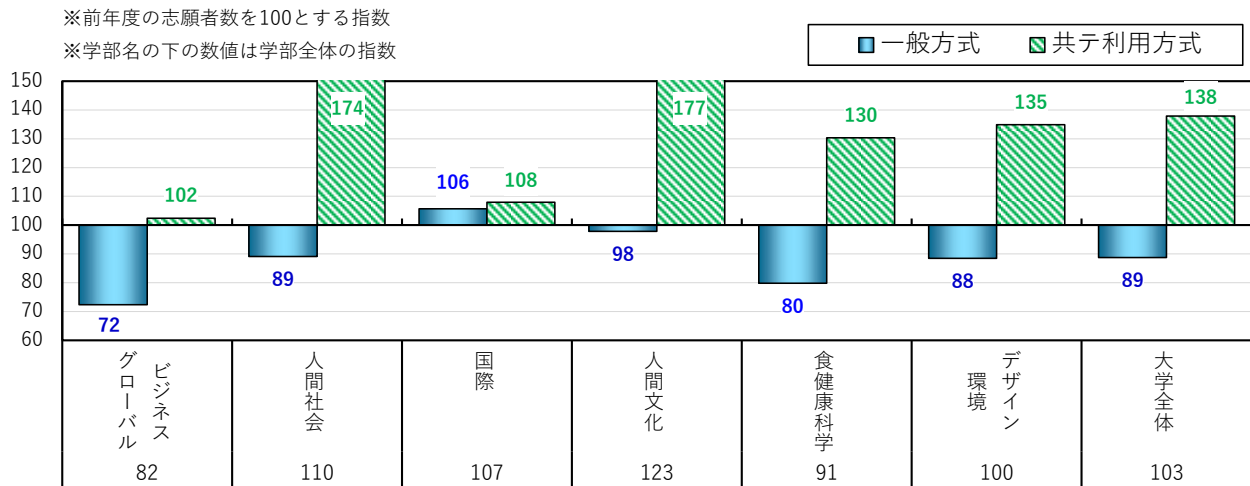


昭和女子大：大学全体では4年ぶりの増加、私立女子大一般選抜では最多志願者数 一般：-770人 共テ：+1,052人



主な入試変更点 選抜方法：グローバルビジネス(ビジネスデザイン)、国際を除く学部・学科
…<共テ・I期英語4技能試験活用>、<共テ・II期英語4技能試験活用>新規実施
利用方法：出願要件 対象試験：ケンブリッジ英検 140点以上、英検 1,950以上、GTEC 960点以上、IELTS 4.0以上、TEAP225点以上、TEAP CBT 420点以上、TOEFL iBT 42点以上

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、共通テスト利用方式の新方式の実施と3年連続減少の反動から282人(103)のやや増加、志願者数9,890人は私立女子大一般選抜では最多。学部別では、6学部中4学部が増加。人間文化(123)は大幅増加、人間社会(110)は増加、国際(107)はやや増加。一方で、グローバルビジネス(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。一般方式は、2018年度から4年連続減少後、前年度は微増だったが、再び(89)の減少。学部別では6学科中5学科が減少。(グローバルビジネス)(72)、(食健康科学)(80)は大幅減少。一方で、共通テスト利用方式は、グローバルビジネス(ビジネスデザイン)、国際を除く学部・学科で新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>の志願者数が846人で、これを加えて1,052人(138)の大幅増加。既存の募集単位のみでも、3年連続減少の反動で(115)の大幅増加。

<一般方式>

- グローバルビジネス(72)**は、大幅減少。2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、(会計ファイナンス)(102)は7人の微増だが2年連続増加、志願者数は3年ぶりに300人を上回った。一方で、(ビジネスデザイン)(58)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、8年ぶりに志願者数は400人を下回った。
- 人間社会(89)**は、前年度やや増加の反動で減少。学科別では、4学科中3学科が減少。(現代教養)(69)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(福祉社会)(94)は前年度大幅減少に引き続きやや減少、(初等教育)(99)は微減だが4年連続減少。一方で、(心理)(106)はやや増加で2年連続増加。
- 国際(106)**は、系統への低い人気もあって2年連続大幅減少の反動は小さくやや増加に留まり、志願者数は2年連続1,100人を下回った。学科別では、(国際)(114)は2年連続減少の反動で増加。一方で、(英語コミュニケーション)(99)は微減だが4年連続減少で、志願者数は2017年度に人間文化の学科から学部へ改組されて以降で最少。
- 人間文化(98)**は、前年度大幅減少に引き続き18人の微減で、志願者数は現在の2学科体制になった2017年度以降で最少。学科別では、(日本語日本文)(104)はやや増加。一方で、(歴史文化)(91)は2年連続減少。
- 食健康科学(80)**は、旧生活科学を改称後2回目の募集だが、大幅減少。現在の3学科合計では旧生活科学時代から6年連続で増加がない。学科別では、(健康デザイン)(66)、(管理栄養)(83)はいずれも大幅減少、(食安全マネジメント)(89)は旧生活科学時代から2年連続減少。
- 環境デザイン(88)**は、減少。旧生活科学(環境デザイン)から学部へ改組された2020年度の翌年から前年度の反動による増減が継続。

<共通テスト利用方式>

- グローバルビジネス(102)**は、前年度大幅増加に引き続き微増で2年連続増加。ただし、新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>を除いた比較では(99)の前年度並。学科別では、<共テ・英語4技能試験活用>を新規実施した、(会計ファイナンス)(209)は前年度大幅増加に引き続き倍以上、既存の方式のみでも(141)の大幅増加。一方で、既に<共テ・英語4技能試験活用>を実施していた(ビジネスデザイン)(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 人間社会(174)**は、3年連続減少の反動で激増。新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>を除いても(116)の大幅増加。学科別では、(福祉社会)(211)、(初等教育)(206)、(心理)(172)はいずれも激増、(現代教養)(146)は大幅増加。既存方式のみでは、(初等教育)(151)、(福祉社会)(140)は大幅増加、(心理)(114)は増加。一方で、(現代教養)(90)は減少。既存の方式別では、共通テストの実施前が出願締切日の<共テ・I期>(120)は3年連続減少の反動で大幅増加、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ・II期>(84)は大幅減少。
- 国際(108)**は、4年ぶりに増加だが、系統への低い人気もあって2019年度対比では約45%の減少。学科別では、(英語コミュニケーション)(111)は増加、(国際)(105)はやや増加。方式別では、共通テスト実施前が出願締切日の<共テ・I期>(156)は大幅増加。一方で、<共テ・I期英語4技能試験活用>(85)、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ・II期>(82)はいずれも大幅減少、<共テ・II期英語4技能試験活用>(41)は半減以下。
- 人間文化(177)**は、激増。新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>を除いても前年度大幅減少の反動で(126)の大幅増加。学

科別では、(歴史文化)(191)、(日本語日本文)(164)はいずれも激増。既存の方式のみでも(歴史文化)(132)、(日本語日本文)(121)のいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。既存の方式別では、共通テスト実施前が出願締切日の<共テ・I期>(131)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ・II期>(80)は大幅減少。

○**食健康科学(130)**は、旧生活科学を改称後2回目の募集だが、大幅増加。ただし、新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>を除くと(99)で前年度並、前年度大幅減少の反動はなかった。学科別では、(食安全マネジメント)(156)、(健康デザイン)(122)、(管理栄養)(119)はいずれも大幅増加。ただし、既存の方式のみでは、(健康デザイン)(104)、(食安全マネジメント)(103)はいずれもやや増加だが、(管理栄養)(95)はやや減少。既存の方式別では、共通テスト実施前が出願締切日の<共テ・I期>(100)は前年度並、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ・II期>(96)はやや減少。

○**環境デザイン(135)**は、大幅増加で2年連続増加。新規実施の<共テ・英語4技能試験活用>を除いても(103)の2年連続やや増加。既存の方式別では、共通テスト実施前が出願締切日の<共テ・I期>(106)はやや増加で2年連続増加。一方で、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ・II期>(63)は大幅減少。